

# リーグ戦3種目に全敗

## 困ります...入替戦の帝王では

五十三年度関東学生リーグ戦は五月二日から六月九日まで、東京・浜町の中央区立体育館などで行われた。早大は三種目によく健闘したが、上位校との力の差は大きく全敗で総合最下位。最終日の入替戦では二部優勝校立大にストレート勝ち（フルレール、サブフル）し一部を座を守った。早大の三種目全敗は四十九年以来四年ぶり二度目。入替戦出場は五十年以来三年ぶりのこと。

## 立大二部優勝にストレート勝ち

【評】 苦しいリーグ戦だったが、まず入替戦のこの種目で決めちゃおう」を言葉に、自信を持って入替戦に臨んだ。ヒヤリとしたのはフルレールの立ち上がり。森、篠原が連敗し、田中が勝ったものの、井上も負け。最初の巡で一勝三敗と、負け試合のパターンだ。しかし二巡目、森、田中が連勝し3-1-3のタイに追いついてからは、完全に早大のペース。田中がタイミングの良いコントロール・アタックをスバズバ決めて全勝。エースの働きを示し、森、井上の三年生も攻守にリズムミカルな動きを見せた。主将篠原の元気のなさが気になったが、十人を超すOBの声を枯らしての熱気を主体としたベッチの声援が完全に立大を圧倒。技術の差というよりは斗志の差、執念の差でフルレールを取った。

サブルは、立大が試合順序を間違えるというミスに犯し、絶対調の田中が立



富山泰男

ち上がり二連勝でスタート。フルレールの押せ押せムードをそのまま持ち込んで、危なげなく勝った。一部リーグに返り咲いて今年で八年目、その間五度入替戦を行い、ことごとく勝つという「入替戦の帝王」ぶりを再び発揮した早大だ。

種目	順位	対戦相手	結果
フルレール	●早	大7-9日	大
	●早	大3-13中	大
	●早	大5-11法	大
	●早	大4-12専	大
	●早	大2-14拓	大
	●早	大2-14拓	大
	●早	大2-14拓	大
	●早	大2-14拓	大
	●早	大2-14拓	大
	●早	大2-14拓	大
サブフル	●早	大1-15法	大
	●早	大2-14中	大
	●早	大3-12日	大
	●早	大2-14専	大
	●早	大5-11拓	大
	●早	大5-11拓	大
	●早	大5-11拓	大
	●早	大5-11拓	大
	●早	大5-11拓	大
	●早	大5-11拓	大

### 新人紹介

富山泰男

### 一部で通用する選手に

昇立新潟高校出身、一浪「憧れの早稲田大学フエニング部へ入って、今とても充実した毎日を送っています。わが新潟高校フエニング部は、早稲田へ行くとフエニングをやることを最上の希望としています。

昭53年7月31日発行  
編集者 早稲田大学稲光会  
発行所 早稲田大学稲光会  
印刷 早稲田大学稲光会  
第1巻第2号

# 稲光会報

◇二～三面ワイド特集  
「部の現状を語る」  
竹村・川名  
「親子鷹二代」  
◇四面  
リーグ戦・入替戦詳報

## 53年度稲光会総会に金子誠氏

### 中村栄太郎副会長は留任

五月十三日、母校大隈会館内「完之荘」で、二十八人の役員（うち部員二人）が出席して行われた。懸案の新人選については、会長に金子誠氏（二十四年度）が満場一致で選出され、副会長に中村栄太郎氏（二十五年度）幹事を長竹村晃氏（三十一年度）は留任、幹事若干名を補充することを決めた（別表参照）。また席上、幹事団から五十二年の会計報告、事業報告があり、出席者全員がこれを了承した。なお、総会のため、にわざわ新潟から上京された原猛会長から「日本協会に対し、稲光会から理事を一人送り込んで欲しい」旨の提案が出された。

### 五十三年度人事

（★印は新任、敬称略）  
（名誉会長） 滝口 宏  
（会長） 金子 誠★  
（副会長） 中村栄太郎  
（幹事）  
竹村 晃（幹事長）  
川名宏美（監督）  
棒 暢夫（会 計）  
北原輝久（総 務）  
新井時男（企 画）  
黒田九州矢（企 画）★  
橋本純樹（企 画）  
吉田友久（会 計）  
成田竜士（総 務）  
森居 章（企 画）  
高橋秀忠（会 計）★  
宮 信雄（総 務）★

### 新会長の抱負

（金子 誠）  
会は万々歳だ」と思った。その直後の計報。信じられない思いで、それに就任して、その後という大役が私に回って来たとは思っていません。温厚な人柄で、まとめ役としては適任。地方会員との交流、現

### より密接なつながりを

マン稼業のかたわら、毎年団体に出場し、行く先々で懐かしい顔ぶれに再会するのを楽しんで来た。フエニングに関しても、現在にいたるまでも数々の思い出

### 日本協会にも積極的に

原 猛（二十四年度）  
新潟在住のOBとして、在京OB諸君の活躍ぶりに、常々感心しておりました。手元に送られてくる会の案内、報告を見るたびに、最近の稲光会の充実ぶりがうかがわれます。機会があったらぜひ一度みなさんと会い、直接いろいろなお話をうかがいたいと考えています。今度やつとこの願いを叶えることが出来ました。

### OBの輪に胸がジーン

林 宣夫（三十五年度）  
卒業以来十七年。銀行マン（埼玉銀行）として大阪に四年いたのを初めとし、各支店を転々としながら預

### 金獲得競争の先兵として

稲光会総会というものは、卒業以来初めて出席しました。いや、もう、とにかく懐かしい人たちがいつついて、年月の経過をヒシヒシと感じました。案内は、会の活動状況、現役の成績については知っており、でも、こうやって総会の雰囲気じかに触れてみると、改めて「みなさん一生懸命やっておられるなあ」という思いを強く、自分のご無沙汰を深く反省したいです。これから、各種会合に積極的に出席するつもりです。



吉田さんが会長に就任された時「ああ、これで稲光

